

平成25年度（2013年度） 区民意識意向調査 〈概要版〉

この小冊子は、平成25年7月に実施しました「平成25年度（2013年度）区民意識意向調査」の概要版です。調査の結果については、今後の区政運営の基礎資料として活用させていただきます。ご協力いただいた区民の皆様から感謝と御礼を申し上げます。

調査の概要

- ①調査対象 …………… 練馬区在住の満20歳以上の男女2,500名を住民基本台帳より無作為抽出
- ②調査方法 …………… 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- ③調査期間 …………… 平成25年7月1日（月）～7月22日（月）
- ④回収状況 …………… 有効回収数 1,019 回収率 40.8%
- ⑤調査テーマ ……………
 - 1 区の施策および評価について
 - 2 人権について
 - 3 消費活動について
 - 4 福祉のまちづくりについて
 - 5 地域福祉について
 - 6 環境について

数字の表示について

- (1) 図表中「n」とは、その質問への回答者総数のことです。
- (2) 回答は、回答者総数を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入してあります。このため、回答率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問では、回答率の合計が100%を超える場合があります。

この調査の詳しい結果は、図書館などに置いてある「平成25年度（2013年度）区民意識意向調査報告書」をご覧ください。

平成25年11月

発行 練馬区区長室広聴広報課

〒176-8501 練馬区豊玉北6丁目12番1号

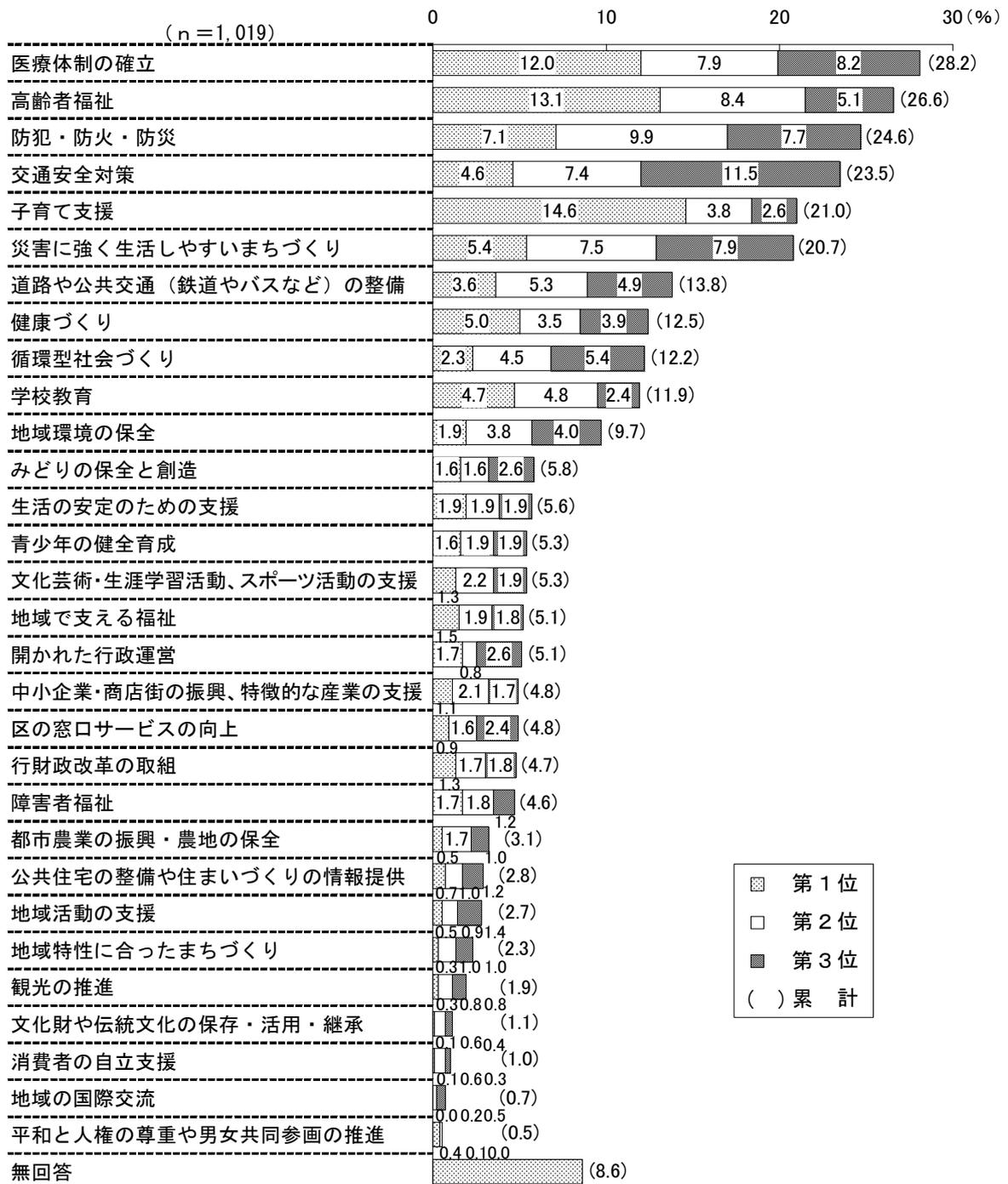
電話 03-5984-4501（ダイヤルイン）

1 区の施策および評価について

(1) 施策への要望

◇「医療体制の確立」、「高齢者福祉」が3割近く

特に力を入れてほしい施策を第1位から第3位まで挙げてもらった。その3つの累計をみると、「医療体制の確立」(28.2%)が3割近くで最も多く、次いで「高齢者福祉」(26.6%)、「防犯・防火・防災」(24.6%)、「交通安全対策」(23.5%)、「子育て支援」(21.0%)などの順となっている。



(2) 施策への要望一過年度比較

◇「医療体制の確立」が第1位に、「高齢者福祉」が第2位に上昇

過去の調査と比較すると、前回調査（平成24年度）で第5位だった「医療体制の確立」が今回調査で第1位に、前回調査（平成24年度）で第6位だった「高齢者福祉」（平成16年度は「高齢者福祉の向上」）が今回調査で第2位となった。また、「子育て支援」（平成17年度は「児童福祉・子育て支援」、平成16年度は「児童福祉の向上・子育て支援の充実」と、「防犯・防火・防災」（平成17年度は「安全・安心なまちづくり（防犯・防災）」、平成16年度は「災害に強いまちづくり」）はいずれも5位以内に入っている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成25年度	医療体制の確立	高齢者福祉	防犯・防火・防災	交通安全対策	子育て支援
平成24年度	防犯・防火・防災	交通安全対策	災害に強く生活しやすいまちづくり	子育て支援	医療体制の確立
平成23年度	子育て支援	防犯・防火・防災	災害に強く生活しやすいまちづくり	医療体制の確立	高齢者福祉
平成22年度	医療体制の確立	高齢者福祉	子育て支援	交通安全対策	防犯・防火・防災
平成21年度	高齢者福祉	子育て支援	防犯・防火・防災	交通安全対策	生活しやすいまちづくり
平成20年度	高齢者福祉	防犯・防火・防災	交通安全対策	子育て支援	学校教育
平成19年度	防犯・防火・防災	高齢者福祉	交通安全対策	生活しやすいまちづくり	子育て支援
平成18年度	防犯・防火・防災	高齢者福祉	交通安全対策	子育て支援	学校教育
平成17年度	安全・安心なまちづくり（防犯・防災）	高齢者福祉	学校教育	道路等の交通の整備	児童福祉・子育て支援
平成16年度	高齢者福祉の向上	児童福祉の向上・子育て支援の充実	みどりの保全と創造	住環境の整備	災害に強いまちづくり

(3) 区施策への満足度

◇「健康づくり」が7割を超え、「循環型社会づくり」、「みどりの保全と創造」、「学校教育」が6割台

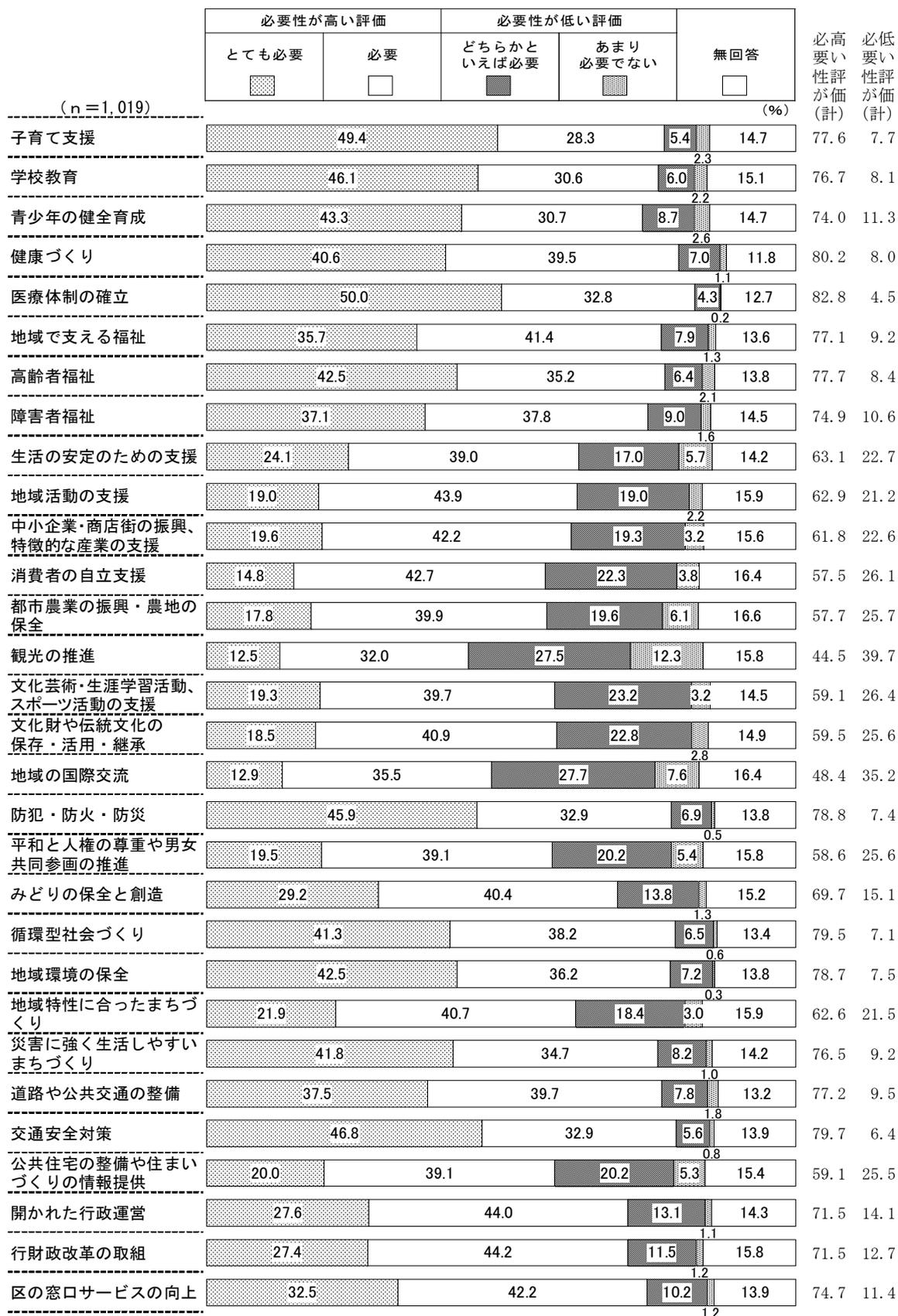
区施策への満足度を聞いたところ、「健康づくり」(73.1%)が7割を超え最も多く、次いで「循環型社会づくり」(62.4%)、「みどりの保全と創造」(61.3%)、「学校教育」(60.2%)、「子育て支援」(59.6%)などの順となっている。

	満足評価		不満評価		無回答	満足評価 (計)	不満評価 (計)
	満足 ■	どちらかといえば満足 □	どちらかといえば不満 ■	不満 ■			
(n=1,019)	(%)						
子育て支援	8.8	50.7	18.6	6.1	15.7	59.6	24.7
学校教育	7.3	52.9	17.9	4.2	17.8	60.2	22.1
青少年の健全育成	5.2	51.1	22.1	4.2	17.4	56.3	26.3
健康づくり	16.2	56.9	14.3	3.5	9.0	73.1	17.9
医療体制の確立	6.7	47.3	28.1	7.5	10.5	54.0	35.5
地域で支える福祉	5.5	51.4	24.2	4.6	14.2	56.9	28.9
高齢者福祉	5.4	51.2	24.4	5.5	13.4	56.6	29.9
障害者福祉	5.1	52.5	22.1	3.6	16.7	57.6	25.7
生活の安定のための支援	5.0	47.6	23.1	7.4	17.0	52.6	30.4
地域活動の支援	5.9	50.9	22.7	4.6	15.9	56.8	27.3
中小企業・商店街の振興、 特徴的な産業の支援	3.0	43.1	32.5	5.0	16.4	46.1	37.5
消費者の自立支援	2.6	50.3	24.6	4.3	18.1	53.0	28.9
都市農業の振興・農地の 保全	5.5	48.4	23.5	4.1	18.5	53.9	27.6
観光の推進	3.6	44.7	28.0	6.4	17.4	48.3	34.3
文化芸術・生涯学習活動、 スポーツ活動の支援	4.5	52.0	22.5	5.8	15.2	56.5	28.3
文化財や伝統文化の 保存・活用・継承	4.6	54.3	21.5	3.1	16.5	58.9	24.6
地域の国際交流	2.4	43.4	30.5	4.3	19.4	45.7	34.8
防犯・防火・防災	6.4	46.0	27.6	5.1	14.9	52.4	32.7
平和と人権の尊重や男女 共同参画の推進	3.9	52.2	22.7	3.2	18.0	56.1	25.9
みどりの保全と創造	9.8	51.5	18.7	4.4	15.5	61.3	23.2
循環型社会づくり	10.1	52.3	19.8	4.1	13.6	62.4	23.9
地域環境の保全	4.6	40.4	28.9	11.6	14.5	45.0	40.4
地域特性に合ったまち づくり	4.5	45.1	26.4	6.8	17.2	49.7	33.2
災害に強く生活しやすい まちづくり	4.0	40.9	33.6	6.4	15.1	44.9	39.9
道路や公共交通の整備	8.5	43.2	25.9	9.7	12.7	51.7	35.6
交通安全対策	3.5	26.4	39.5	18.0	12.7	29.9	57.4
公共住宅の整備や住まい づくりの情報提供	3.1	44.4	28.2	7.9	16.5	47.5	36.0
開かれた行政運営	2.4	40.2	31.9	10.2	15.3	42.6	42.1
行財政改革の取組	2.4	39.2	32.2	9.0	17.1	41.7	41.2
区の窓口サービスの向上	2.6	49.2	23.1	7.8	13.0	56.2	30.8

(4) 区施策への必要性

◇「医療体制の確立」が8割を超え、「健康づくり」、「交通安全対策」、「循環型社会づくり」が8割

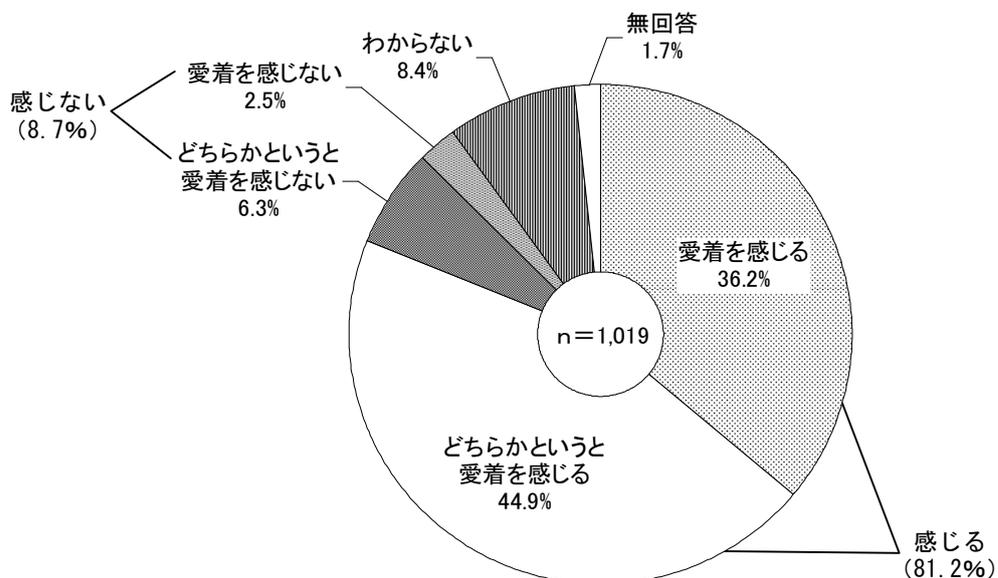
区施策への必要性を聞いたところ、「医療体制の確立」(82.8%)が8割を超えており、「健康づくり」(80.2%)、「交通安全対策」(79.7%)、「循環型社会づくり」(79.5%)の3項目が8割となっている。



(5) 練馬区への愛着

◇『感じる』が8割を超える

練馬区に愛着を感じるか聞いたところ、「愛着を感じる」(36.2%)と「どちらかというとな愛着を感じる」(44.9%)を合わせた『感じる』(81.2%)が8割を超えている。一方、「どちらかというとな愛着を感じない」(6.3%)と「愛着を感じない」(2.5%)を合わせた『感じない』(8.7%)は1割近くとなっている。

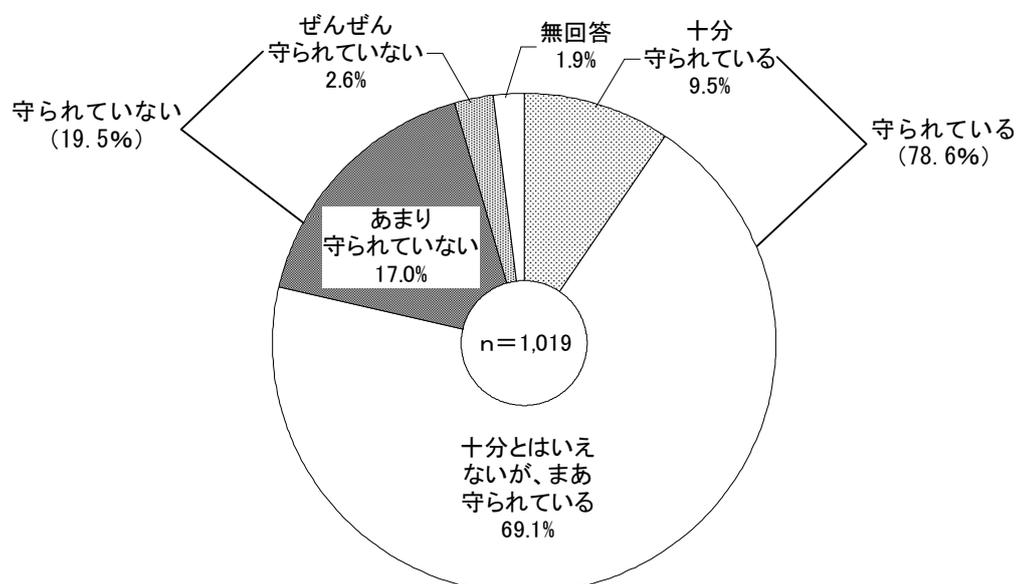


2 人権について

(1) 人権が守られているかについての意識

◇『守られている』は8割近く

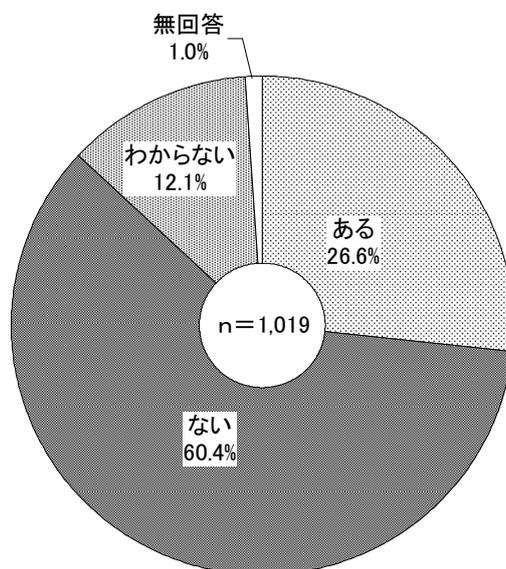
現在のわが国では「人権」が守られていると思うか聞いたところ、「十分守られている」(9.5%)と「十分とはいえないが、まあ守られている」(69.1%)を合わせた『守られている』(78.6%)は8割近くとなっている。一方、「あまり守られていない」(17.0%)と「ぜんぜん守られていない」(2.6%)を合わせた『守られていない』(19.5%)は2割となっている。



(2) 人権侵害や差別を受けた経験の有無

◇「ない」が6割

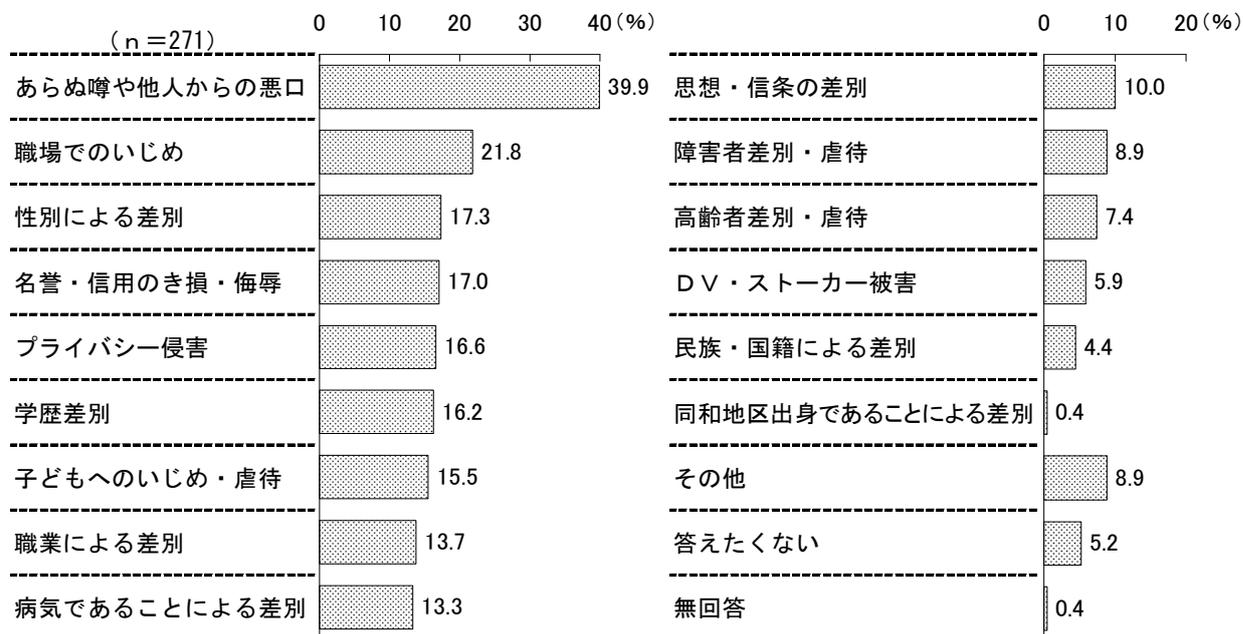
今までに自分や家族の「人権」が侵害されたと思ったり、差別を受けたと思ったことがあるか聞いたところ、「ない」(60.4%)が6割で最も多く、「ある」(26.6%)は3割近く、「わからない」(12.1%)は1割を超えている。



(2-1) 実際に受けた人権侵害や差別の内容

◇「あらぬ噂や他人からの悪口」が4割

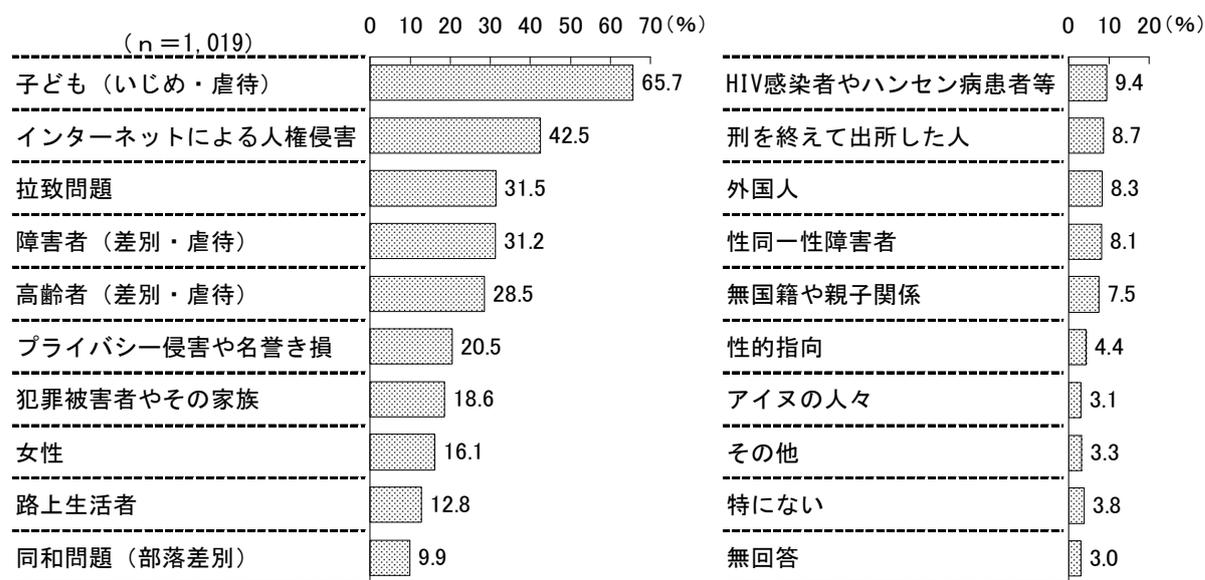
今までに自分や家族の「人権」が侵害されたと思ったり、差別を受けたと思ったことが「ある」と答えた方(271人)に、その内容を聞いたところ、「あらぬ噂や他人からの悪口」(39.9%)が4割で最も多く、次いで「職場でのいじめ」(21.8%)、「性別による差別」(17.3%)、「名誉・信用のき損・侮辱」(17.0%)、「プライバシー侵害」(16.6%)などの順となっている。



(3) 現在深刻だと思う人権問題

◇「子ども（いじめ・虐待）」が6割半ば

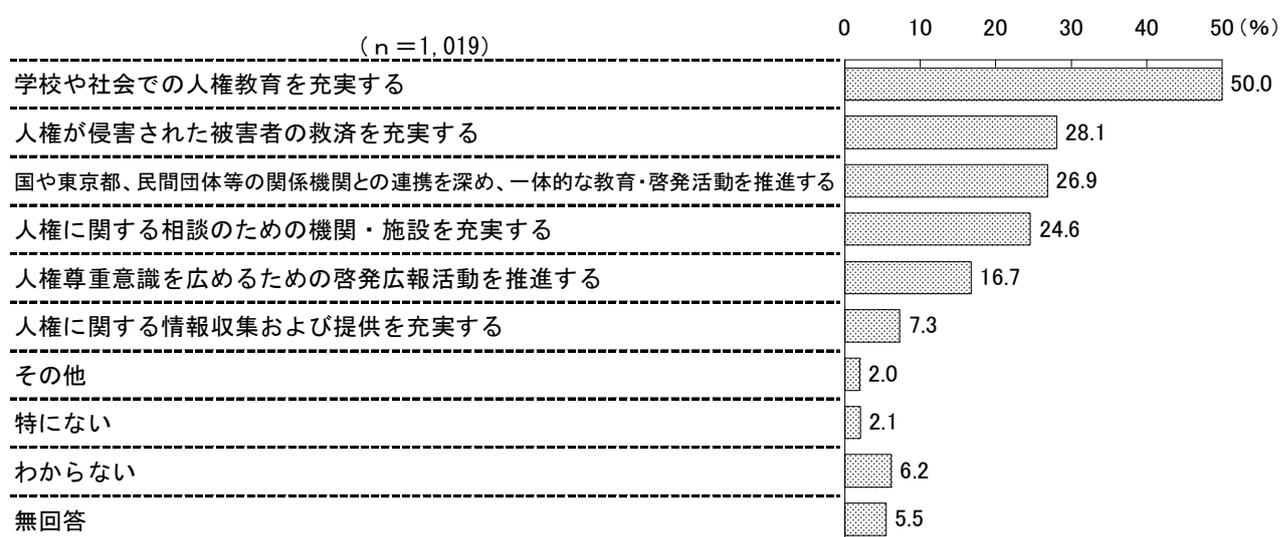
現在どのような人権問題が深刻だと思うか聞いたところ、「子ども（いじめ・虐待）」（65.7%）が6割半ばで最も多く、次いで「インターネットによる人権侵害」（42.5%）、「拉致問題」（31.5%）、「障害者（差別・虐待）」（31.2%）、「高齢者（差別・虐待）」（28.5%）などの順となっている。



(4) 人権尊重社会の実現のために区が取り組むべき施策

◇「学校や社会での人権教育を充実する」が5割

今後、人権尊重社会の実現のために区はどのような取り組みに力を入れていけばよいと思うか聞いたところ、「学校や社会での人権教育を充実する」（50.0%）が5割で最も多く、次いで「人権が侵害された被害者の救済を充実する」（28.1%）、「国や東京都、民間団体等の関係機関との連携を深め、一体的な教育・啓発活動を推進する」（26.9%）、「人権に関する相談のための機関・施設を充実する」（24.6%）、「人権尊重意識を広めるための啓発広報活動を推進する」（16.7%）などの順となっている。

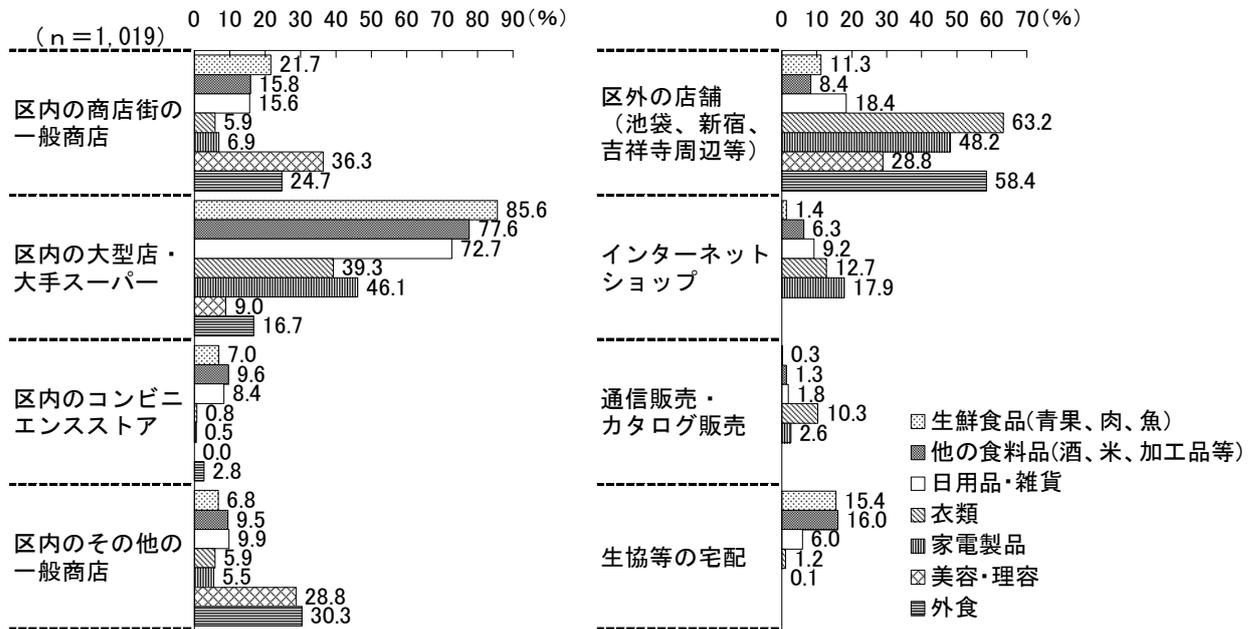


3 消費活動について

(1) 買い物や外食をする店舗

◇生鮮食品（青果、肉、魚）では「区内の大型店・大手スーパー」が8割半ば

日頃、買い物をどこでするか聞いたところ、「区内の大型店・大手スーパー」が最も多く、生鮮食品（青果、肉、魚）（85.6%）で8割半ば、他の食料品（酒、米、加工品等）（77.6%）で8割近くと多くなっている。「区内の商店街の一般商店」では、美容・理容（36.3%）が3割半ばと最も多くなっている。また、外食は、「区外の店舗（池袋、新宿、吉祥寺周辺等）」（58.4%）が6割近くと最も多くなっている。

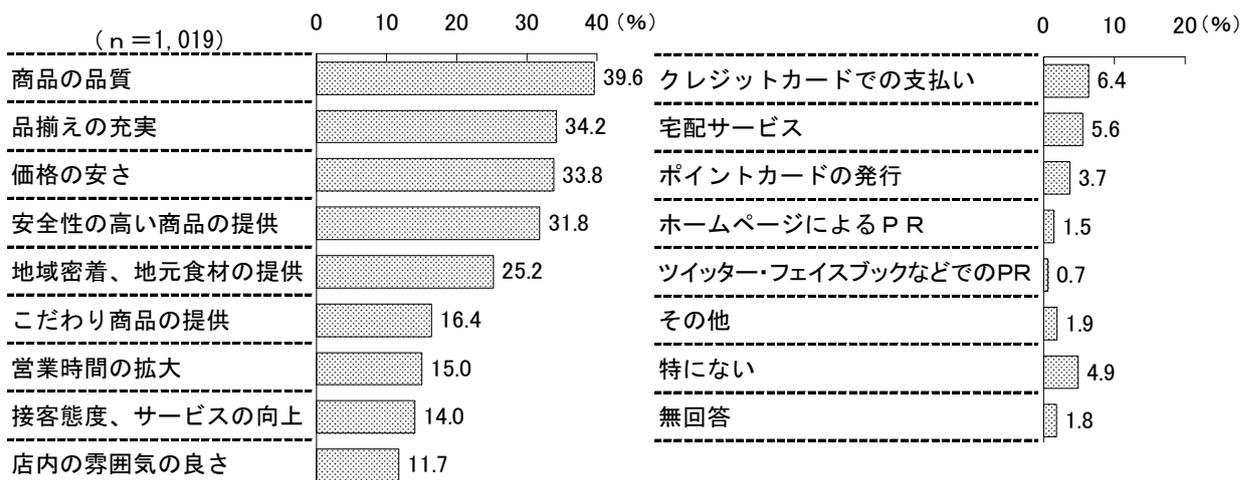


※作図の都合上、無回答を省略しています。

(2) 区内の一般商店に対する要望

◇「商品の品質」が4割近く

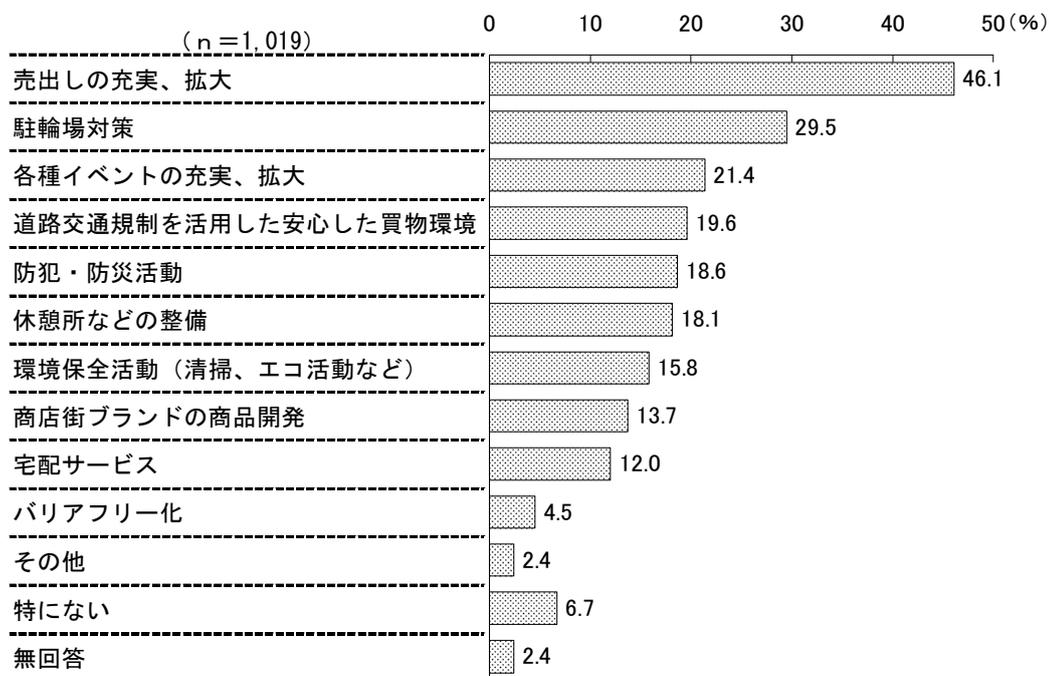
区内の一般商店に望むことを聞いたところ、「商品の品質」（39.6%）が4割近くで最も多く、次いで「品揃えの充実」（34.2%）、「価格の安さ」（33.8%）、「安全性の高い商品の提供」（31.8%）、「地域密着、地元食材の提供」（25.2%）などの順となっている。



(3) 商店街に取り組んでもらいたい事業

◇「売出しの充実、拡大」が4割半ば

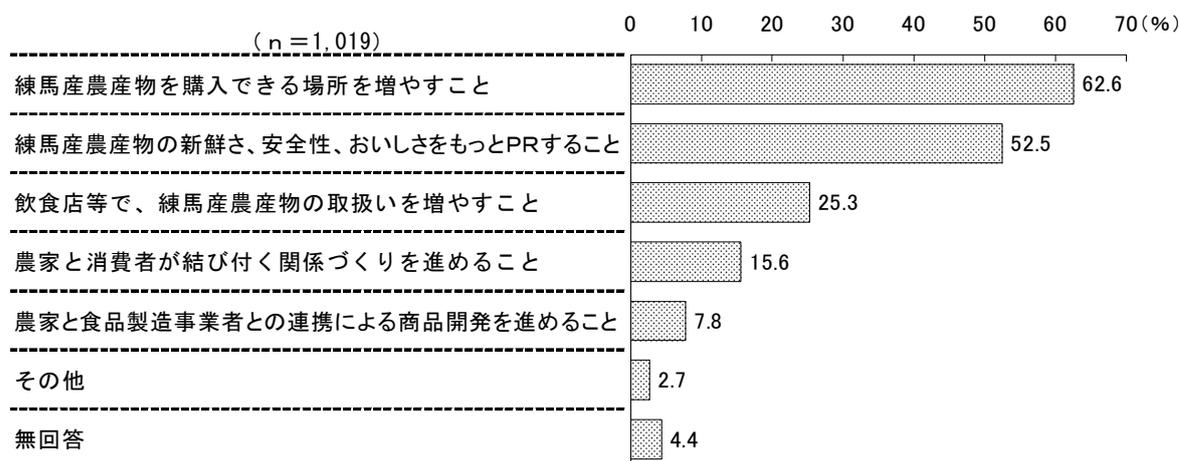
商店街に取り組んでもらいたい事業を聞いたところ、「売出しの充実、拡大」(46.1%)が4割半ばで最も多く、次いで「駐輪場対策」(29.5%)、「各種イベントの充実、拡大」(21.4%)、「道路交通規制を活用した安心した買物環境」(19.6%)、「防犯・防災活動」(18.6%)などの順となっている。



(4) 「地産地消」を広げるために必要なこと

◇「練馬産農産物を購入できる場所を増やすこと」が6割を超える

今後、地産地消を広げるためには何が必要だと思うか聞いたところ、「練馬産農産物を購入できる場所を増やすこと」(62.6%)が6割を超えて最も多く、次いで「練馬産農産物の新鮮さ、安全性、おいしさをもっとPRすること」(52.5%)、「飲食店等で、練馬産農産物の取扱いを増やすこと」(25.3%)、「農家と消費者が結びつく関係づくりを進めること」(15.6%)などの順となっている。

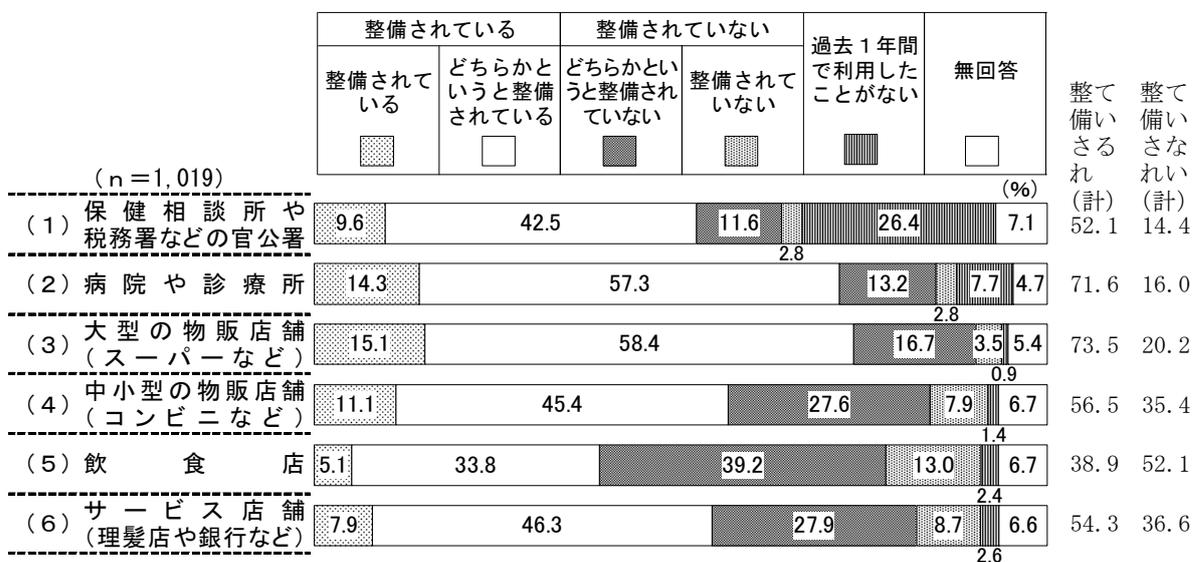


4 福祉のまちづくりについて

(1) 区内の建物の利用しやすさ

◇『整備されている』は「大型の物販店舗(スーパーなど)」と「病院や診療所」が7割を超える

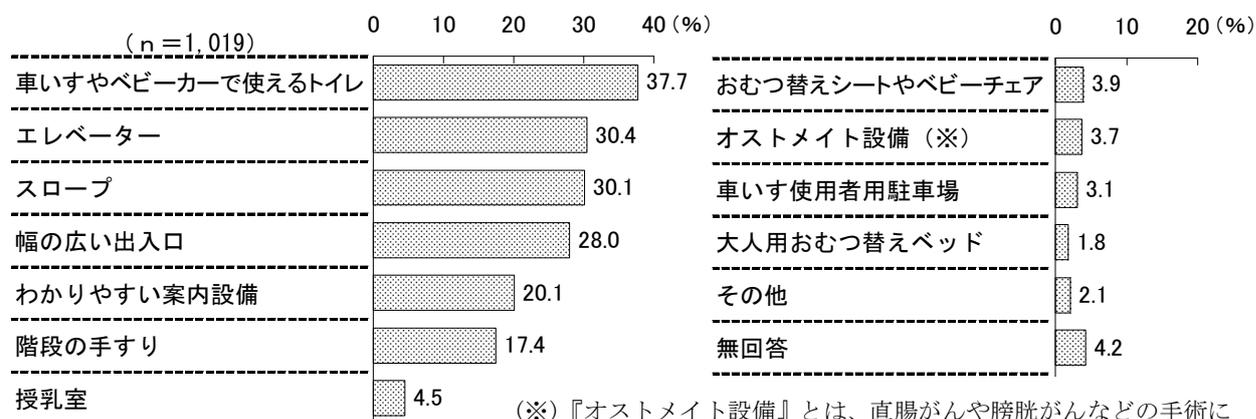
区内の建物について、高齢者や障害のある方・妊産婦や乳幼児を連れた方などが利用する場合、利用しやすいように整備されていると思うか聞いたところ、「整備されている」と「どちらかという整備されている」を合わせた『整備されている』の割合は、(3) 大型の物販店舗(スーパーなど) (73.5%)と(2) 病院や診療所 (71.6%) でともに7割を超えて多くなっている。一方、「どちらかという整備されていない」と「整備されていない」を合わせた『整備されていない』の割合は、(5) 飲食店 (52.1%) で5割を超えて最も多くなっている。



(2) 身近に増えることが望ましいバリアフリー設備

◇「車いすやベビーカーで使えるトイレ」が4割近く

身近な地域にどのようなバリアフリー設備が増えることが望ましいと思うか聞いたところ、「車いすやベビーカーで使えるトイレ」(37.7%)が4割近くで最も多く、次いで「エレベーター」(30.4%)、「スロープ」(30.1%)、「幅の広い出入口」(28.0%)などの順となっている。

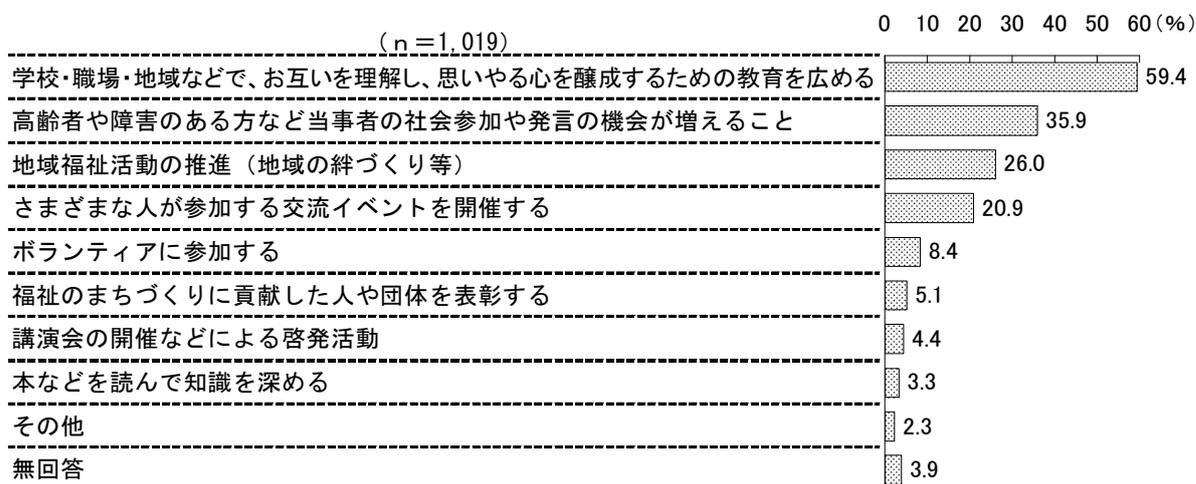


(※)『オストメイト設備』とは、直腸がんや膀胱がんなどの手術により人工肛門や人工ぼうこうを設けた方(オストメイト)が、装着したパウチの排泄物処理などに使用する洗浄設備のこと。

(3) 福祉のまちづくりを推進するための取組

◇「学校・職場・地域などで、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育を広める」がほぼ6割

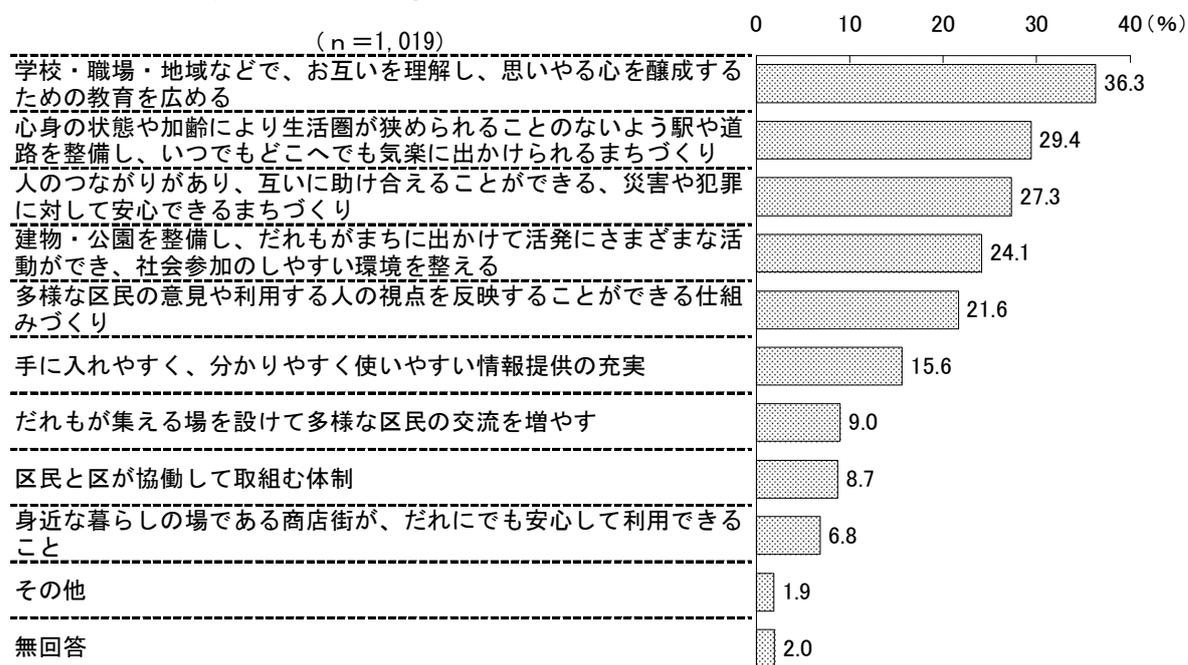
より一層福祉のまちづくりを推進するためにはどのような取組が必要だと思うか聞いたところ、「学校・職場・地域などで、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育を広める」(59.4%)がほぼ6割で最も多く、次いで「高齢者や障害のある方など当事者の社会参加や発言の機会が増えること」(35.9%)、「地域福祉活動の推進(地域の絆づくり等)」(26.0%)などの順となっている。



(4) 福祉のまちづくりを進めるために区が取り組むべき施策

◇「学校・職場・地域などで、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育を広める」が3割半ば

今後、福祉のまちづくりを進めていくにあたり、区が特に重点をおいて取り組む必要があることを聞いたところ、「学校・職場・地域などで、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育を広める」(36.3%)が3割半ばで最も多く、次いで「心身の状態や加齢により生活圏が狭められることのないよう駅や道路を整備し、いつでもどこへでも気楽に出かけられるまちづくり」(29.4%)、「人のつながりがあり、互いに助け合えることができる、災害や犯罪に対して安心できるまちづくり」(27.3%)などの順となっている。

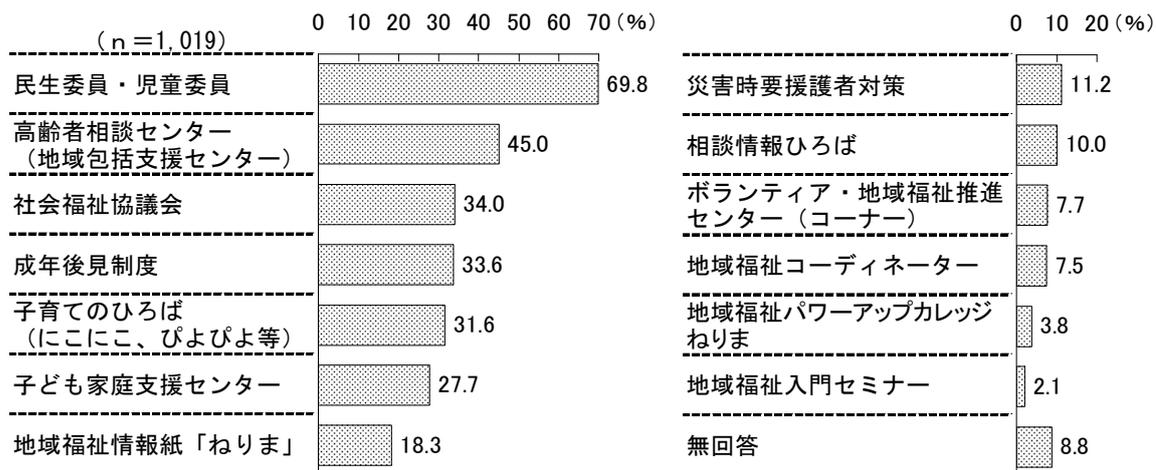


5 地域福祉について

(1) 地域福祉の推進のために区が実施している事業の認知度

◇「民生委員・児童委員」が7割

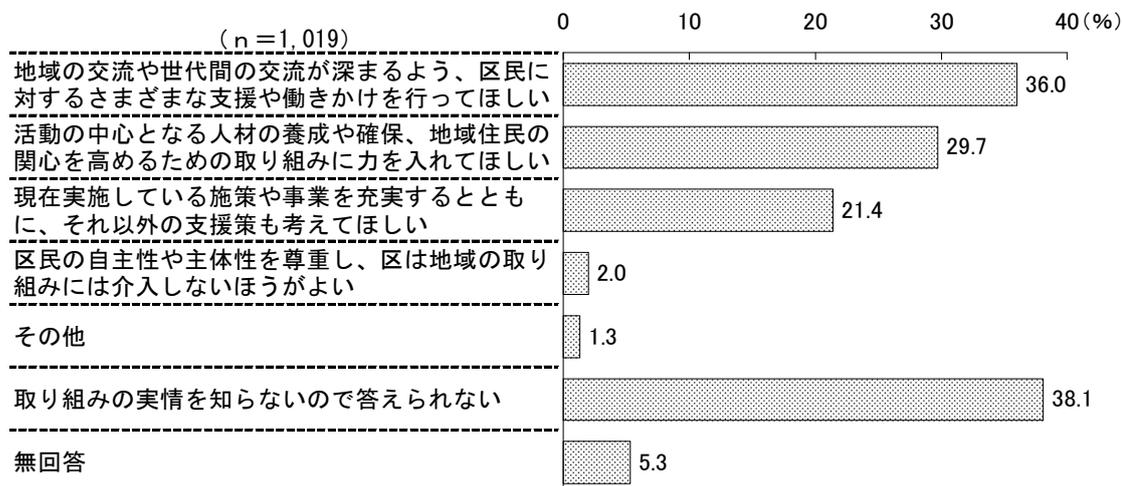
地域福祉を推進するために、区が実施している主な事業や施策について知っているものを聞いたところ、「民生委員・児童委員」(69.8%)が7割で最も多く、次いで「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」(45.0%)、「社会福祉協議会」(34.0%)、「成年後見制度」(33.6%)、「子育てのひろば(にこにこ、ぴよぴよ等)」(31.6%)などの順となっている。



(2) 地域福祉の推進のための区の実施について

◇「地域の交流や世代間の交流が深まるよう、区民に対するさまざまな支援や働きかけを行ってほしい」が3割半ば

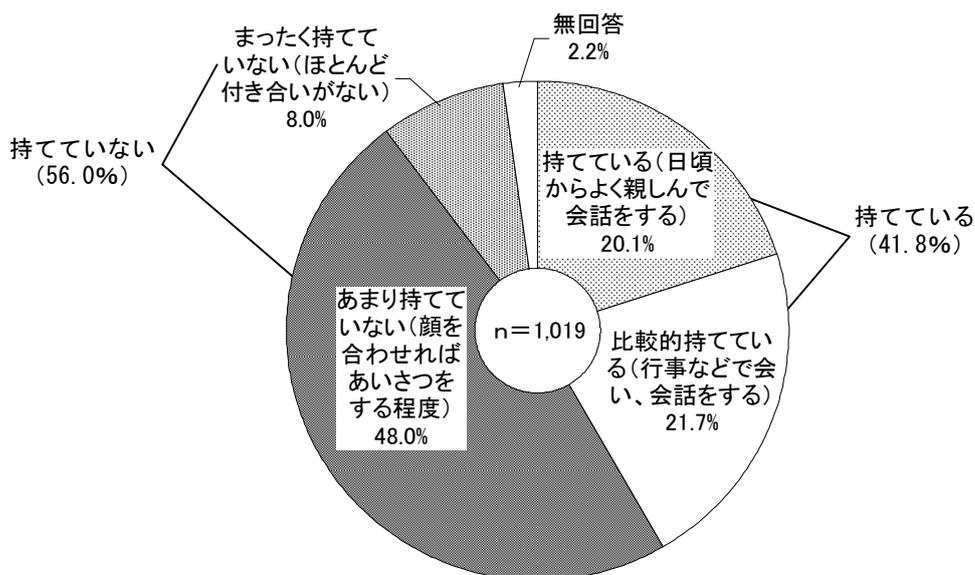
区が行っている地域福祉活動の拠点づくりや地域で活動する人材の育成などの取り組みについてどう思うか聞いたところ、「地域の交流や世代間の交流が深まるよう、区民に対するさまざまな支援や働きかけを行ってほしい」(36.0%)が3割半ばで最も多く、次いで「活動の中心となる人材の養成や確保、地域住民の関心を高めるための取り組みに力を入れてほしい」(29.7%)、「現在実施している施策や事業を充実するとともに、それ以外の支援策も考えてほしい」(21.4%)などの順となっている。



(3) 近隣の方とのかかわり

◇『持っている』は4割を超える

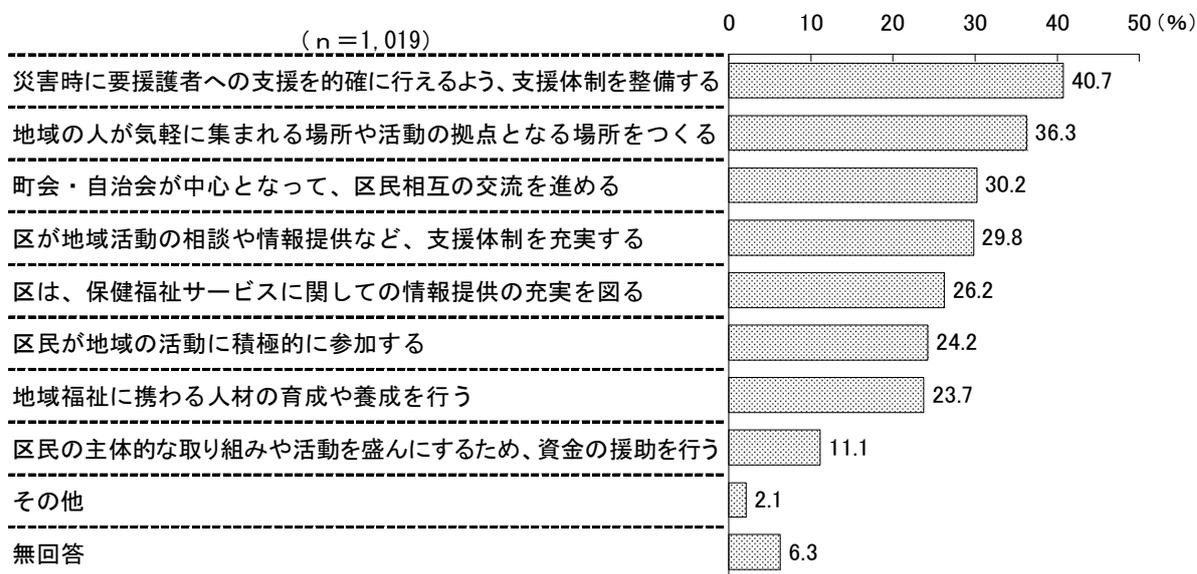
近隣の方とかかわりを持っていると感じるか聞いたところ、「持っている（日頃からよく親しんで会話をする）」(20.1%)と「比較的持っている(行事などで会い、会話をする)」(21.7%)を合わせた『持っている』(41.8%)は4割を超えている。一方、「あまり持っていない(顔を合わせればあいさつをする程度)」(48.0%)と「まったく持っていない(ほとんど付き合いがない)」(8.0%)を合わせた『持っていない』(56.0%)は5割半ばとなっている。



(4) 地域福祉を推進するための取組

◇「災害時に要援護者への支援を的確に行えるよう、支援体制を整備する」がほぼ4割

地域福祉を推進するためにどのような取り組みが必要だと思うか聞いたところ、「災害時に要援護者への支援を的確に行えるよう、支援体制を整備する」(40.7%)がほぼ4割で最も多く、次いで「地域の人が気軽に集まれる場所や活動の拠点となる場所をつくる」(36.3%)、「町会・自治会が中心となって、区民相互の交流を進める」(30.2%)などの順となっている。

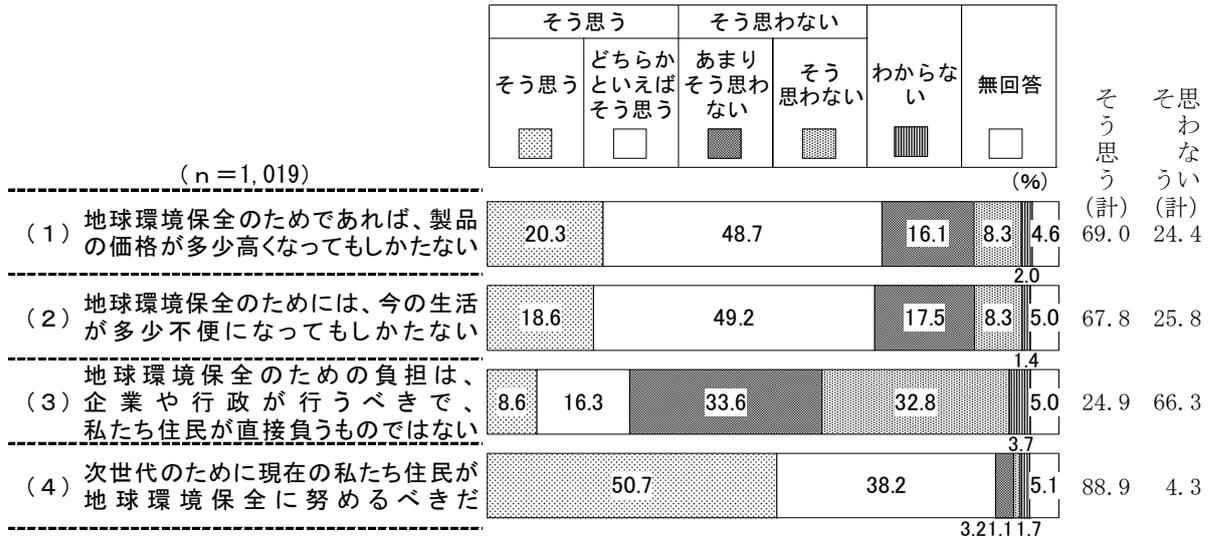


6 環境について

(1) 地球保全のための負担についての考え

◇『そう思う』は「次世代のために現在の私たち住民が地球環境保全に努めるべきだ」で9割近く

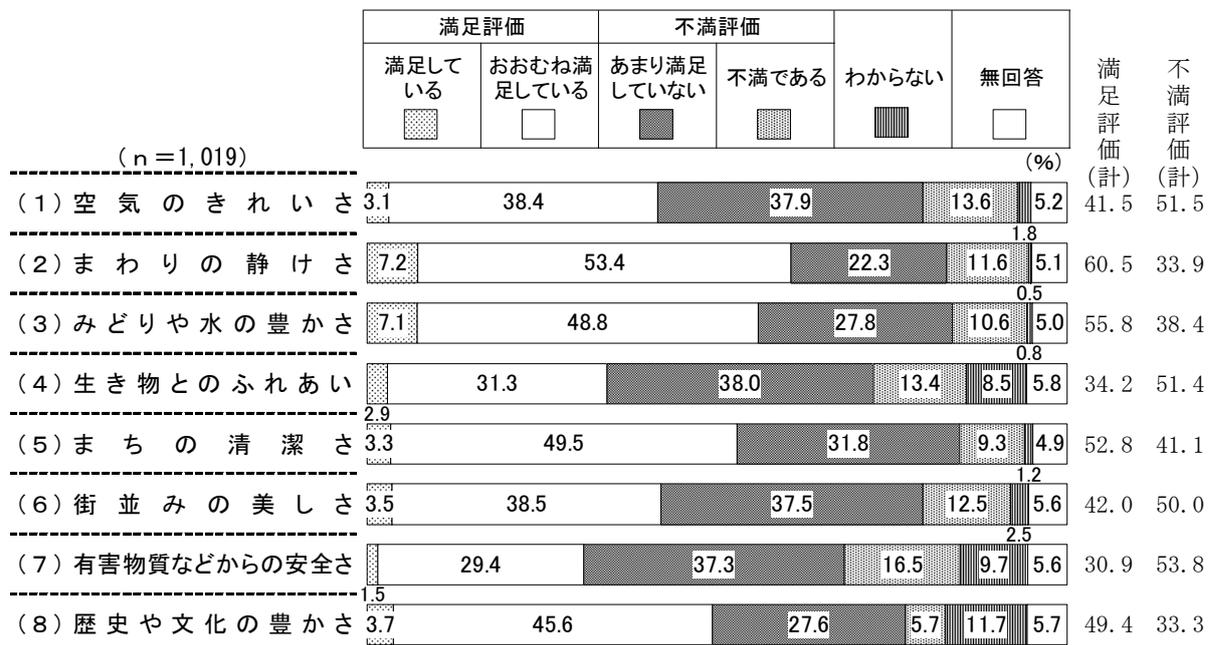
地球保全のための負担についての4つの意見に対して、どのように考えるか聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合は、(4)次世代のために現在の私たち住民が地球環境保全に努めるべきだ(88.9%)で9割近くと最も多くなっている。



(2) 身のまわりの環境についての満足度

◇『満足評価』は「まわりの静けさ」がほぼ6割

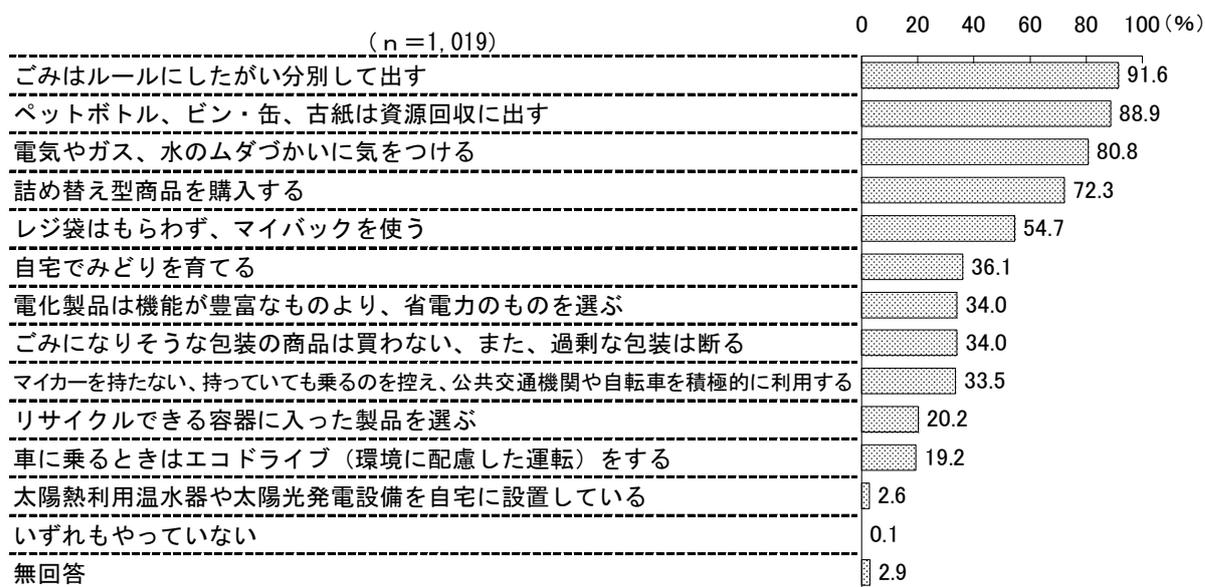
身のまわりの環境についてどのように感じているか、8項目に分けて聞いたところ、「満足している」と「おおむね満足している」を合わせた『満足評価』の割合は、(2)まわりの静けさ(60.5%)でほぼ6割と最も多くなっている。



(3) 日常生活で環境に配慮して行動していること

◇「ごみはルールにしたがい分別して出す」が9割を超える

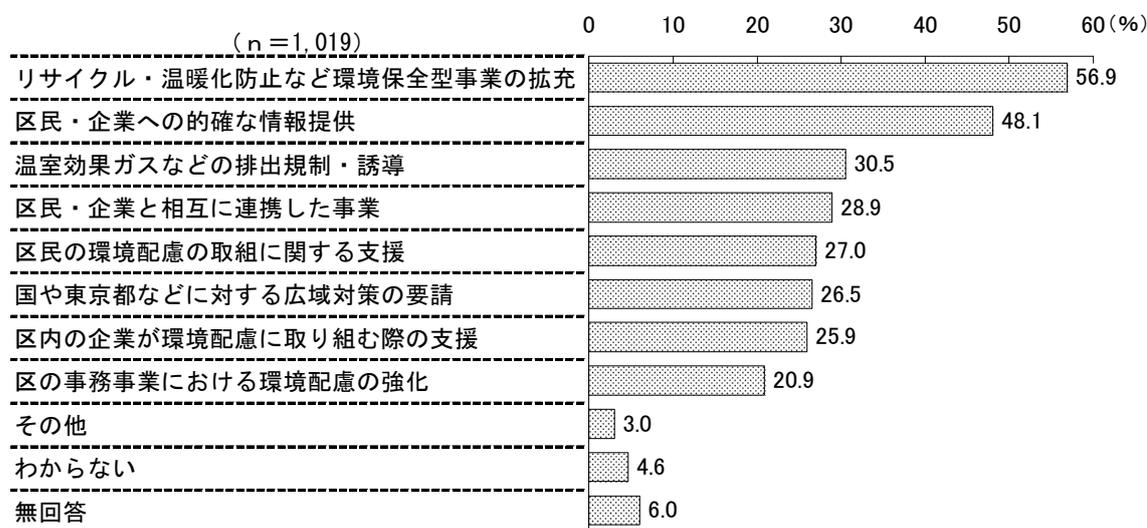
日常生活において、環境に配慮した行動のうち、常に行動している、あるいはおおむね行動していることを聞いたところ、「ごみはルールにしたがい分別して出す」(91.6%)が9割を超えて最も多く、次いで「ペットボトル、ビン・缶、古紙は資源回収に出す」(88.9%)、「電気やガス、水のムダづかいに気をつける」(80.8%)などの順となっている。



(4) 地球環境保全のために区が取り組むべき施策

◇「リサイクル・温暖化防止など環境保全型事業の拡充」が6割近く

地球環境保全のため、区が進めるべき施策として重要だと思うものを聞いたところ、「リサイクル・温暖化防止など環境保全型事業の拡充」(56.9%)が6割近くで最も多く、次いで「区民・企業への的確な情報提供」(48.1%)、「温室効果ガスなどの排出規制・誘導」(30.5%)などの順となっている。



本紙の本文は、再生紙を利用しています。

